滋賀県内の留学生と地域を結ぶ交流情報誌

交流

Vol.36

滋賀県留学生交流推進会議

PYON !

目次

1.　留学生の声 2
周りの人へ感謝を忘れず 2
寂しかったが、幸せな留学生活 3
縁に恵まれて 4
私の留学生活　小さな夢まであと一歩 5
琵琶湖とその生き物の魅力 6
【No Title】 7
滋賀の思い出 8
留学生活 9
ボランティア活動から得たもの 10
＜日本の将来を支える人たちと交流＞ 11

2.　交流事業の紹介 12
独立行政法人日本学生支援機構　近畿支部 12
龍谷大学 17
滋賀大学 18
2021 年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 19

3.　県内大学、短期大学の留学生受入状況（2021 年 5 月 1 日） 21
(1) 留学生数の推移 21
(2) 在籍身分別留学生数 21
(3) 出身国（地域）別留学生数 22

※本誌記事における留学生の情報（所属機関・学年等）は 2021 年度時点のものです。

周りの人へ感謝を忘れず

滋賀医科大学大学院 医学系研究科 修士課程
看護学専攻 公衆衛生看護学講座 第1学年

辛 文宇 （シン ブンウ）さん

私は辛文宇と申します。今は滋賀医科大学大学院公衆衛生看護学講座修士課程一年生です。今まで、私の留学生活は紆余曲折でした。感無量です。一言で言えば、今のところに来て、本当によかったということです。

2021 年 4 月に大学院に入学しました。しかし、私は 2018 年 10 月に、日本に来ました。大学に入学するのがなぜそんなに遅くなったのか。その 2 年半の期間に、どんなことをしたのか？実のところ私は 2018 年 10 月に日本へ来て、すぐに、神戸大学に大学院の研究生として入学しました。しかし一年を経て、退学しました。そして、日本語学校に入学しました。なぜ神戸大学を退学したかというと、その 1 年間、様々な原因で、日本語が全然駄目な感じがしたからです。全く自分が望む留学生活ではなかったのです。したがって、親友からの反対を押し切って、家族を説得して、学費をもらって、日本語学校に入学しました。その後の 1 年半、一生懸命に頑張りました。N1 レベルに達したのみならず、日本に関する文化や慣習も学びました。ところが、そのころ、大学院をもう一度チャレンジしようと思いましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、大学院に入学するハードルが高くなるようでした。ある先生の教育活動が中止になりました。進学もできなければ、入国制限も実施されていました。帰国もできませんでした。私は途方に暮れました。本当につらい感じでした。

結局、無事に滋賀医科大学大学院に入学できました。私の今の指導教員の伊藤先生に貴重な機会をもらって、進学することができました。本当に心から感謝しています。

入学してから、現時点まで、この学科の外国人は自分しかいません。先輩にも、同級生にもいろいろお世話になっております。生活といい、勉強といい、いろいろなところでフォローいただています。しかも、同じゼミ室には、学部生もいます。いろいろ話しあうことができます。同級生の中の異なる年齢の人と接し、学校のスタッフさんや先生たちとやりとりすることで、まわりの人の真面目さ、優しさ、エチケットのよさなどをしみじみ感じました。これは私の日本に留学する目的の一つでした。テレビのニュースは事実とは限りません。自ら感じることが大事だと思うのです。今の周りの人たちから、私はいろんな影響を受けました、それはこれからの人生の宝物だと思っています。このことを一生に忘れずに、これからの人生やより良い社会を支えることに役立とうと思っています。

寂しかったが、幸せな留学生活

滋賀県立大学　工学部
電子システム工学科 3 年

張　啓建（チョウ　ケイケン）さん

2019 年 4 月から滋賀県立大学に入学し、大学生活の旅を始めた。2018 年の一年間を予備校で過ごし、国公立大学を受験してみようと思っており、オープンキャンパスを体験し、美しい環境でもあり、学ぶ雰囲気が良さそうなので、滋賀県立大学を受験してみた。その時は非常に運がよかったから、滋賀県立大学に受かったと今でも思っている。一年生の時、所属学科には留学生が私 1 人しかいなかったので、不安を抱いたが、大学の先生たちは、非常に優しかった。授業中で聞き取れなかった内容を先生に聞くと、早口の先生でもゆっくり説明してくれた。物理学実験で、チームワークとコミュニケーション能力を向上させ、専門能力も育成させることができた。このように、一年間を無事に終えた。

2 回生のとき、前期がコロナの影響でいきなりオンラインになって、友達ができず何もなかったまま過ごした。後期からバスケットボール部に入部したところ、先輩も後輩も優しくて、たくさんの友達ができた。バスケットボールの戦術を教えてくれるだけではなく、日本語も教えてくれて、さらに同じ学科の先輩が学科専門のことまで教えてくれた。そして、しっかりコロナ対策を守った上で、他大学との練習試合もできたし、関西バスケットボール大学リーグ戦にも参加した。残念ながら、リーグ戦前の練習で怪我をしてしまって、出場することができなかったが、下から試合をみて、チームの課題を見つけて自分のアドバイスを言うのも良い経験になったと思う。今年のリーグ戦があれば、参加したいと考えている。

将来、私はまず本学の大学院に進み、日本で就職したいと考えている。コロナ時代の留学には様々大変なことがあったが、非常に楽しい思い出もあり、一生忘れることはないと思う。

縁に恵まれて

成安造形大学　美術学科　2 年

黄 思淞（ウン セソン）さん

初めまして、黄 思淞(ウン セソン)と申します。今年は来日 5 年目です。留学生活は寂しくて、辛かった時もありましたが、縁に恵まれて、現在の私は幸福です。

大学入学前の 2 年間、日本語学校に通いましたが、来日した当初は友達もいなく、日本語も分からず、不慣れな場所で新たな生活を始めるのが辛かったです。全く日本語が話せない私は、先輩の紹介で、アルバイトをし始めました。日本語ができない私に、色々面倒を見てくれて、バイト先の皆さんの情熱をすごく感じて、大変お世話になりました。皆のお陰で、最初は何も分からなかったのですが、話すうちに段々理解できるようになり、仕事の勉強だけではなく、コミュニケーションがとれ、ネーティブに近い発音を覚えるようになりました。最初はびっくりしましたが、関西人の優しく人懐こい雰囲気が気に入っています。これはお世話になった縁です。

世界的な運動、ボーイスカウトという活動を知っている人もいると思いますが、私は母国に 9 年ほどボーイスカウト活動をやってきました。運に恵まれて、日本でボーイスカウト集会が開催されて、私は参加しました。そこに、京都ボーイスカウトの隊長さんと出会いました。その隊長さんに誘われて、そちらで活動させていただきました。そうしたきっかけで、ボーイスカウト活動を続けることができ嬉しかったです。残念ながら、大学に入ったことやコロナ感染症の影響で、やむを得ず活動が中断しました。その後大学に行った私は意外な展開で、違うところの隊長さんと出会って、まだボースカウト活動を続けるようになりました。現在、私は京都ボーイスカウト第 50 団に奉仕し、隊長を担当させていただいております。これは出会いの縁です。

「縁」というのはいいこと、悪いことではなく、全て人生の経験であります。苦しかったこと、悲しかったことが、いつか必ず花開く時が来ます。花開き、実を結ぶ時に、やめてしまってはいけません。

私の留学生活
小さな夢まであと一歩

聖泉大学人間学部　研究生

周　楡稀（シュウ　ユキ）さん

高校 3 年生のとき、私はある小さな夢を抱きはじめました。――いつか「新宿に行ってみたい。」 その時、好きな日本映画や小説からの影響でただぼんやりと抱いた夢でしたが、その後の日本留学のきっかけになりました。

中国で大学進学に際し、私は迷わず日本語学科を選択しました。大学生活の 2 年目の終わりの 2019 年 6 月ごろに、日本の交流大学へ留学する機会があると聞き、早速申し込みました。

中国で 2 年間日本語を勉強してきましたが、来日後、早速いろいろな場面で日本語力の弱さを自覚することに遭遇しました。近くの店へ買い物に行った際、レジで「一括払いでよろしいですか」と聞かれて、意味が分からず、困ってしまいました。授業のときも「自分の日本語で相手に通じるか？」と考えがちで、結局、言いたいことがあっても、黙り込んでしまいました。ところが、先生がすぐに気づいてくださったようで、何度も発言のチャンスを作ってくださったり、表現の方法を丁寧に教えてくださいました。おかげで、私は次第に自信をもって周りの学生の活発な議論に加わることができました。先生の優しい指導のもとで日本語も日に日に上達しました。さらに、私たちにもっと日本を理解させるために、先生は勉強の合間に時々学外へ連れていってくださいました。大学からほど近い長浜の黒壁スクエアの情緒あふれる古い街並みを散策したことは、肌で日本文化を感じる絶好のチャンスでした。

来日 2 年目の去年は資格取得、卒業研究や大学院入試などに没頭して苦しい時期もあったのですが、先生方の温かい指導のおかげで、無事に乗り越えてきました。今年 4 月から大学院生として新しい門出を迎え、大阪への引っ越しの準備が始まりました。大学院入学をきっかけに新たな気持ちで充実した大学院の生活を送りたいです。

今年は来日３年目、まだ新宿に行ったことはありません。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が繰り返し発令されたのが一因でしたが、留学の機会を大切にし、自分自身がもっと成長し、立派な人間になってから行こうと思うようになりました。これからも「初心を忘れずに」頑張り続けたいです。

留学生の声

琵琶湖とその生き物の魅力

長浜バイオ大学　バイオサイエンス学部
１回生

アイメ　パトリック　さん

私は生き物が好きです。特に魚、「魚といえばアイメだ」と周りの人によく言われるぐらい好きです。インドネシアは自然に恵まれ資源豊かな国ですが、一方で都会である地元の河川の多くはゴミだらけの状態でした。そのこともあって、日本に留学してからは、河川や湖に魅せられてしまいました。最初は淡水に生息する生き物のことをあまり考えたりもしませんでしたが、入学するため滋賀県に引っ越し、琵琶湖のすぐ近くそばに住むようになってから琵琶湖の魅力に気づきました

琵琶湖は一言でいうとユニークだと思います。琵琶湖にはほかの地域に見られないビワマスやビワコオオナマズなどのような琵琶湖固有種や、産卵時期になって婚姻色が出るきれいなタナゴたちなど様々な生き物が生息します。琵琶湖について大学で初めて学んだことは、琵琶湖に流れ込む川の数が約 450 本であるのに対し、琵琶湖から流出する川はただ 2 本であるということでした。魚類、貝類、野鳥など琵琶湖の生き物についての知識を深めるため、講義だけではなく、野外調査実習、投網実習や生き物調査など様々な貴重な経験も体験しました。これらは琵琶湖ならではの経験です。

長浜市に来て一年、琵琶湖の様々な風景が体験できました。春の湖北地方の満開桜の並木、暑い夏の川遊びや青い空、秋の田んぼや畑の収穫するときの色。ただ冬はというと寒すぎて、雪の量もひどいのでやることがほとんどないです。南に避難してもよいかもしれません。冗談はさておき本当に良い一年でした。今年もまた琵琶湖を存分に楽しみたいと思います。

生き物を知れば知るほど、彼らと彼らの住む世界を守りたくなります。滋賀県に学んでいる皆さんに限らず、全国、全世界の皆さんにも琵琶湖や琵琶湖の生き物の魅力と美しさを伝えたい。そして最後に、その存在がどれだけ私たちの生活の中に欠かせない一部であるかということを皆さんに知ってほしいと思います。

留学生の声

びわこ成蹊スポーツ大学
スポーツ学部スポーツ学科　4 年生

曺　亨仁（チョ　ヒョンイン）さん

私は、高校 1 年生の時、鹿児島の高校にサッカーをするため 3 年間留学し、その後、滋賀県のびわこ成蹊スポーツ大学に進学しました。大学 4 年間を振り返ると様々な思い出があり人間としてより成長できたと思います。私は、プロサッカー選手になるためにびわこ成蹊スポーツ大学を選びました。サッカー部は、部員数が 300 人近くで、7〜8 カテゴリに分かれて活動をしています。私は、入学してすぐ TOP チームに所属し、周囲からの期待が多く、楽しかった反面、緊張したり自分のパフォーマンスを出せない事がありました。また、1 年目は大怪我をして試合に出られない状況が多かったこともあり、2 年目は所属チームのカテゴリを一つ落としました。3 年目は新型コロナウィルスの影響で上半期全ての試合が中止になり、下半期のみの活動となりました。4 年目は年明け早々に 1 年生の時に大怪我していたところが再発し、上半期は思うようにプレーをできず試合にも出場できませんでした。しかし、サッカーに懸ける思いを諦めずに練習活動に取り組んだ結果、下半期は試合で活躍しチームで得点ランク 2 位、関西学生サッカーリーグ 3 位、全日本大学サッカー選手権大会ベスト 8 という結果に貢献する事ができました。

この結果は、チームメイトをはじめ、監督、コーチングスタッフ、大学の先生方、家族など自分のことを周りでサポートしてくれた人のおかげだと思います。そして、この 4 年間で一番感じたのは、自分のやりたい事、やるべき事を区別し、自ら行動を起こさないと誰も見てくれないということです。そして自分で考えて行動する事で責任感を養い、より考えを深め、困難な状況でも楽しく解決できる事がわかりました。大学サッカーを通して人間としてより成長できた今、本当にこの大学に来て良かったと思っています。また、4 年間、私と関わってくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。これから社会人になりサッカーと仕事を両立していきます。環境が変わり出逢う人たちも新しいと思いますが、大学生活、サッカーで教えてもらったことを今後の社会人生活に活かしていきたいと思います。

滋賀の思い出

立命館大学　理工学部物理科学科　四回生

潘 若華 （パン　ジョウホワア）さん

2018 年に、私は関東の日本語学校を卒業して立命館大学の理工学部へ進学することで、関東から滋賀へ引越しをして、滋賀で四年間の留学生活を始めました。

この四年間は、様々なことを初めて経験しました。また、色々な人と出会い、たくさんの思い出を作りました。

その中で、特に印象に残ったのは、日本人の友達からのお誘いを受け、「びわこてらこや」という滋賀県草津市を拠点にボランティア活動を行う地域団体に参加したことです。びわこてらこやが開催するイベントの企画や運営は大学生が中心になって取り組む形式になっています。そのため、びわこてらこやでは色々なことにチャレンジすることができました。企画や運営の方法はもちろん、日本人メンバーとのコミュニケーションやイベント参加者との交流方法などについても、色々学ばせていただきました。また、びわこてらこやに参加することによって、滋賀県の文化や雰囲気を直接体験することは、ここでしかできないとても特別な経験になりました。短い期間でしたが、そのときは団体のメンバーや滋賀に暮らしている人々に大変お世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。

留学生活の三年目からはコロナウイルスの影響で、春休みに一旦母国へ帰った私は約半年間日本に戻れなくなってしまったことがあったり、授業もほぼオンライン式になって自粛生活が長く続いたりしましたが、それもまた新たな経験です。コミュニケーションはほぼメールで取っているため、これをきっかけに特に日本語の文章力を鍛えることができました。

今年の四月から他大学院に進学するために、滋賀を出ることになりましたが、滋賀での四年間の留学生活は私にとってかけがえのなく、とても貴重な思い出になりました

留学生活

龍谷大学　社会学部現代福祉学科　一年生

劉　昊辰（リュウ　コウシン）　さん

まず、私が日本に留学したいと思った動機を紹介したい。私が両親と旅行で初めて日本に来たのは、12 歳の時だった。生まれて初めて経験した日本は、私にさまざまな新しいことをもたらしてくれた。たとえば、四条大橋の桜の木の下で、追いかけっこをして遊んでいた子供たちや、清水寺のお守りを持って熱心にお参りしているおじいさんを見たりした。夜の京都はとても静かで、小さな橋や水の流れを見ていると、住んでいる人々の人生がとても美しいと感じた。そして、日本の文化を本当に理解したいと思ったので、帰国後もずっと日本に行って勉強したいと思っていた。それで、高校卒業後、龍谷大学留学生別科に留学したのである。

日本に来た当初は、いろいろな難しいことがあった。しかし、龍谷大学グローバル教育推進センターのスタッフの方や留学生別科の先生方、家族の協力で、なんとか志望した龍谷大学社会学部に合格することができた。今は、以前から興味のあった社会福祉の勉強をしている。先生方は私が質問したことに根気よく答えてくださるので、大学での学修も充実している。

龍谷大学の瀬田キャンパスもとてもきれいで、このような学習環境の中で勉強するのは本当に快適である。その一方で、この 2 年間新型コロナウイルスの深刻な流行により、多くの授業がオンラインでしか受けられなくなっており、帰国することも非常に困難な状況になっている。しかし、龍谷大学の留学生交流会に入ったことで、留学生交流会を通じて龍谷大学や中国大使館から支援を受け、学修や生活を続けることができている。

将来は、大学院に進学するつもりである。大学院を修了後は、日本の福祉施設で働き、実務経験を積んだ後、母国に戻って起業する予定である。日中両国の高齢化社会の中で、より多くの高齢者の方々の生活をより快適なものにすることが私の理想である。

留学生の声

ボランティア活動から得たもの

滋賀短期大学
ビジネスコミュニケーション学科　1 回生

NGUYEN LE HUY（グエン　レ　フイ）さん

1 回生の後期にボランティア活動を体験する機会がありました。SDGs について子供たちに簡単な言葉でプレゼンテーションをするというボランティアです。

何組かのグループがプレゼンテーションを用意し、選ばれたグループが実際にボランティア活動を行うということになっていました。私は日本人のメンバーと一緒に作業をして、はじめはちょっと緊張しました。私は外国人なのでコミュニケーションをとるのが難しいと思いましたが、日本人のみんなはとても社交的で、ベトナムの文化や勉強についてもたくさん話すことができました。グループのメンバーで力を合わせ、プレゼンテーション用のパワーポイントを準備しました。子供に興味を持ってもらえるように、かわいいイラストを使用しました。身近な例を挙げてクイズをすることで、SDGs についてもより身近に感じてもらえるようにしました。その結果、留学生である私がいるグループが選ばれ、心配もありましたが、チャレンジしてみたいという気持ちが大きく、ボランティアに参加することになりました。

子供たちは SDGs にあまり興味を持っていないだろうと思っていましたが、実際は大勢の参加者がいて、びっくりしました。当日の役割は、受付とプレゼンテーションの大きく 2 つでした。受付ではチケットの販売と現金の管理をしました。私はコンビニエンスストアで働いた経験があるので、難しくありませんでした。プレゼンテーションも当日までに一生懸命練習し、頑張りましたが、SDGs について子供たちにわかりやすいように説明するのはとても難しかったです。今後機会があれば、子供たちにもっとわかりやすいように教えてあげたいと思いました。このボランティアに参加して、日本語で色々な人の前でプレゼンテーションをするという経験や、日本人とチームワークを発揮して一つのことに取り組むという経験ができました。将来社会人になって、その経験が役に立つと思います。

ボランティア活動を通して、日本語のレベルが上がり、将来の仕事に役立つ多くの経験を積むことができました。私は四年制大学編入の目標を達成するため、もっと頑張りたいです。これから日本語と英語の勉強時間を増やし、日本語でスムーズにコミュニケーションをとることと、N1 をとること、TOEIC で高得点を取ることを目標に頑張りたいです。将来の目標を立て、それに向かって、どんなに難しくても諦めることなく頑張りたいです。

留学生の声

＜日本の将来を支える人たちと交流＞

滋賀大学　経済学部
社会システム学科　2 回生

FATIN NUR AIN ZULAIKHA BINTI MISRAN（アイン）　さん

私は日本に留学している間に雪だるまを作ったり、和食を食べたり、色々なことを体験したいと思っています。2021 年 12 月に守山市立中州小学校の小学生と交流することができました。私は日本に留学してから 2 年間、子供たちと交流したことがなく、今回の機会で新しいことを体験できました。

小学生との交流で、小学生たちからは日本の文化について発表をしてもらい、私からは自国、マレーシアの文化を紹介し、お互いの発表について話し合いました。

留学とは国の代表者だとよく言われ、自分の国の文化や特徴などを他国の人に伝える機会があります。日本の小学生たちから自分の国に関する質問をされて、自分の国や文化などへの理解をより深めることができました。留学前に「これは当たり前」だと思っていたことは今、それぞれの文化の意味や文化の美しさを改めて理解することができました。文化や価値観の異なる小学生たちと交流して、新しい形の異文化コミュニケーションを経験して、私の中で意識革命が起きました。小学生たちと話をすることで、自分の世界が広がり、見方が変わる、自分の成長となるいい経験になりました。

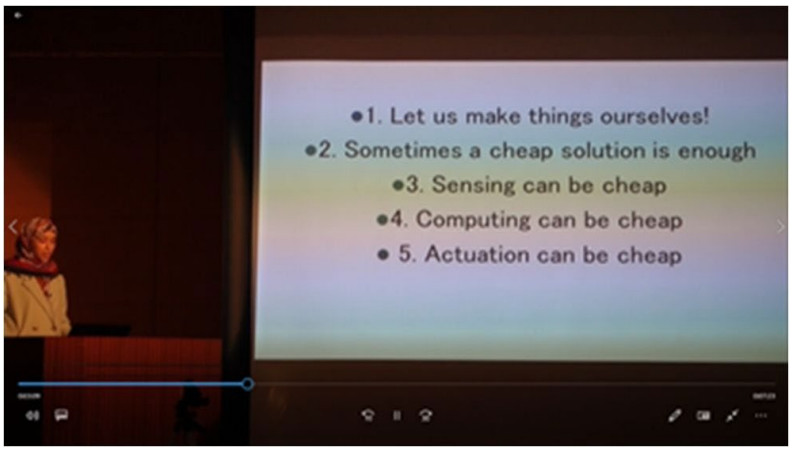
小学生たちは、私たち外国人のために一生懸命日本の文化について調べたり、適切な言葉で説明したりしてくれて、私たちにとってありがたいことでした。彼らは相手に関心を示し、異文化を理解することができる、日本の将来を支える人たちだと感じました。小学生たちとの交流は短い時間でしたが、小学生たちが自分を受け入れてくれて嬉しかったです。様々なことを学ぶことができ、いい経験となりました。そのことを思いながら、今後もよりいい活動を経験していきたいと思います。

独立行政法人日本学生支援機構　近畿支部

■　開催日時：令和 3 年 10 月 30 日（土）、31 日（日）、11 月 6 日（土）（録画実施）
■　交流事業名：第 16 回兵庫国際交流会館交流研究発表会
■　開催場所：オンライン（兵庫国際交流会館 3F 多目的ホールにて撮影）
■　対象者・参加者：兵庫国際交流会館入居者及び一般
■　内容：

兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等が、大学や研究機関等で研究している内容を紹介することにより、入居者間の知的ネットワークの形成と研究交流を促進することを目的に実施した。なお、2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、無観客で行った研究発表を録画し、JASSO ホームページ及び YouTube TIEC＆HIH channel にて公開した。

JASSO ホームページ：https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/hih/event/koryu/16.html
テーマ：「What is MY STUDY?」令和 4 年 1 月 13 日（木）公開



第 16 回兵庫国際交流会館交流研究発表会

■　開催予定日時：令和 4 年 3 月 6 日（日）14 時 00 分～15 時 40 分
■　交流事業名：第 17 回兵庫国際交流会館交流研究発表会「国際理解ワークショップ」
■　開催場所：オンライン（兵庫国際交流会館 3F 多目的ホールにて撮影）
■　対象者・参加者：兵庫国際交流会館及び東京国際交流館入居者並びに一般
■　内容：

兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等が、「国際理解ワークショップ」として共通のテーマを設け、各国・地域の文化を紹介することにより、入居者間及び日本社会との知的ネットワークの形成と異文化理解を促進することを目的に実施予定。
東京国際交流館における第 71 回東京国際交流館交流研究発表会と合同開催予定。
テーマ：「祭 / festival」

■　開催日時：令和 3 年 12 月 18 日（土）16 時 00 分～18 時 00 分
■　交流事業名：第 10 回兵庫国際交流会館国際塾
■　開催場所：オンライン（国立能楽堂よりライブ配信）
■　対象者・参加者：兵庫国際交流会館及び東京国際交流館入居者
■　内容：

兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「能楽」をテーマに、日本への多角的な理解を促すことを目的に実施した。
なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国立能楽堂よりライブ配信にて実施した。
テーマ：「能楽」（講師：宝生流シテ方能楽師 武田孝史氏及び武田伊左氏）

第 10 回兵庫国際交流会館国際塾

■　開催予定日時：令和 4 年 3 月 12 日（土）17 時 00 分～19 時 00 分
■　交流事業名：第 11 回兵庫国際交流会館国際塾
■　開催場所：オンライン
■　対象者・参加者：兵庫国際交流会館及び東京国際交流館入居者並びに一般
■　内容：

兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、世界遺産にも登録されている「富士山」をテーマに、日本への多角的な理解を促すことを目的に実施予定。
テーマ：「富士山と世界遺産」（講師：筑波大学名誉教授 稲葉信子氏）

交流事業の紹介

■　開催予定日時：令和 4 年 2 月 19 日（土）11 時 00 分～20 時 00 分
■　交流事業名：東京国際交流館及び兵庫国際交流会館国際交流オンラインフェスティバル
■　開催場所：オンライン（東京国際交流館プラザ平成 4F 会議室及び兵庫国際交流会館
■　　3F 多目的ホールよりライブ配信）
■　対象者・参加者：兵庫国際交流会館及び東京国際交流館入居者並びに一般
■　内容：

東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に入居する外国人留学生等と、一般の人々の相互交流を通じた国際理解の促進を目的として実施予定。
例年、東京・兵庫それぞれの地で開催していた「国際交流フェスティバル」を、オンラインを活用し合同開催予定。
キャッチフレーズ：「つながろう！いつでも どこでも 誰とでも」
イベント特設サイト：https://www.jasso-onlinefestival.jp/

■　開催日時：令和 3 年 12 月 12 日（日）17 時 00 分～19 時 00 分
■　交流事業名：令和 3 年度第１回オンラインスタディツアー
■　開催場所：オンライン
■　対象者・参加者：兵庫国際交流会館及び東京国際交流館入居者
■　内容：

東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、重要無形民俗文化財に指定されている「ナマハゲ」に関わる見学や体験を通して、日本の歴史や文化に触れることで、日本への理解を深めることを目的として実施した。
ツアー名：「ナマハゲに会いに行こう！Discovery of "NAMAHAGE"!」

令和３年度第１回オンラインスタディツアー

交流事業の紹介

■　開催予定日時：令和 4 年 3 月中旬
■　交流事業名：令和 3 年度第 3 回オンラインスタディツアー
■　開催場所：オンライン
■　対象者・参加者：兵庫国際交流会館及び東京国際交流会館入居者
■　内容：

東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、「京都」を舞台に、ユネスコ世界文化遺産にも登録されている「古都京都の文化財」等の見学や体験を通して、日本の歴史や文化に触れることで、日本への理解を深めることを目的として実施する。

ツアー名：「未定」（訪問地：京都）

■　開催日時：令和 3 年 10 月 23 日（土）17 時 00 分～20 時 30 分
■　交流事業名：逆境の産物 謎解き脱出ゲーム体験会
■　開催場所：オンライン（東京国際交流館プラザ平成 4F 会議室）
■　対象者・参加者：兵庫国際交流会館及び東京国際交流会館入居者
■　内容：

東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、新たな価値を見出す取組を積極的に展開する企業による、講演や新しい価値の創造の結果生まれたコンテンツの体験会等を通じ、コロナ化における発想の転換について気付きを与えることを目的に実施した。

講演テーマ：コロナ禍における新しい価値の創造
（講師：株式会社 IKUSA 執行役員 中村淳司氏）
体験コンテンツ：閉ざされた電脳都市からの脱出）

逆境の産物 謎解き脱出ゲーム体験会

※日本学生支援機構の兵庫国際交流会館で実施する国際交流拠点事業について記載。

交流事業の紹介

■　交流事業名：兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（G-Navi）
■　内容：
一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸及び国立大学法人神戸大学への委託事業。
兵庫国際交流会館を「国際交流の拠点」として活用する各種事業を実施。
なお、2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、主としてオンラインにて実施。

主な事業：
大学コンソーシアムひょうご神戸
〇ファシリテーション・プロジェクト演習
〇キャリアカフェ「Nada Global Village （NGV）」
〇そうだ、日本に行こう！～オンラインで知る日本の魅力と防災～
〇英語村

※その他の事業は以下 URL をご覧ください。
http://www.consortium-hyogo.com/g-navi/

神戸大学
〇留学生のための日本語アカデミックライティングラボ
〇就職のための日本語講座
〇多文化多言語ワークショップ：カルチャーから見る社会―中国とエルサルバドルの文化
〇やさしい日本語セミナー
〇ランゲージサロン

※その他の事業は以下 URL をご覧ください。
https://g-navi.jp/

※日本学生支援機構の兵庫国際交流会館で実施する国際交流拠点事業について記載。

龍谷大学

■　開催日時：2021 年 7 月 16 日、7 月 19 日
■　交流事業名：留学生と楽しむ国際漫才
■　開催場所：Zoom によるオンラインワークショップ
■　対象者・参加者：本学留学生（正規、留学生別科、交換）、日本人学生
■　内容：

吉本興業所属の国際夫婦漫才コンビ フランポネの協力を得て、ZOOM を活用した「留学生と楽しむ国際漫才ワークショップ」を開催しました。お笑い・漫才を通して在学生（日本人学生・外国人留学生）に国際交流の機会を提供できました。

滋賀大学

■　交流事業名：第 3 回留学生対象就職活動ガイダンス
■　開催日時：令和 3 年 7 月 24 日（土）
■　開催場所：オンライン
■　対象者・参加者：11 名
■　内容：

今回のガイダンスは、主に学部 1 年生及び日本での就職を目指している外国人留学生が参加し、日本で働くための就職活動の方法や就職に係る在留手続きなどを知ってもらい、今後の就活の参考にしてもらう機会として、オンラインで開催した。（主催：滋賀大学、びわ湖東北部地域連携協議会、共催：公立大学法人滋賀県立大学、聖泉大学）

本学就職支援室入江直樹先生の「日本で働くための就職活動について」、元本学国際交流機構寅野滋先生の「どこが違う？留学生の就活と日本人の就活 在留手続きは就活にどう影響するか 」の講演と、内定をもらって就活を終えた現・本学留学生 2 名から「日本企業でのインターンシップや就職活動体験談」また、本学を卒業し日本の企業に就職した先輩からの「就活アドバイス」や「就職先での業務や近況」等の情報共有を行った。

参加した留学生にとって、日本での就職をめざすための準備や就活スケジュール、どんな仕事なら在留資格が許可されるかなど、就職活動のポイントを聞くことができ、有意義な時間となった。

■　交流事業名：第 4 回留学生対象就職活動ガイダンス
■　開催日時：令和 3 年 12 月 11 日（土）
■　開催場所：オンライン
■　対象者・参加者：12 名
■　内容：

第 3 回（7 月開催）に引き続き、日本でこれから就活をする人、卒業後に就活をする人、就職先が決まった外国人留学生が参加し、日本で働くための就職活動の方法や就職に係る在留資格、手続きなどを知ってもらうため、オンラインで開催した。（主催：滋賀大学、びわ湖東北部地域連携協議会、共催：公立大学法人滋賀県立大学、聖泉大学）

本学就職支援室入江直樹先生の「日本で働くための就職活動について」、元本学国際交流機構寅野滋先生の「留学生の就職と在留資格について」の講演と、本学留学生から「日本企業でのインターンシップ体験談等」、また、日本の企業に就職した本学と滋賀県立大学の先輩から「日本で就職しようと思ったきっかけ」、「就職活動体験談や後輩への就活アドバイス」、「就職先での仕事の内容や就職後の生活」等の情報共有をした。

留学生、卒業生へのインタビューでは、就職活動に大切なこととして、低学年から学業に励み、課外活動などを通じてコミュニケーション能力・コミュニティを広げること、インターンシップ、企業見学をできるだけ多く経験すること、業界研究、企業研究はもちろん、自己分析や職種研究も重視する、大変な時は誰かに頼る、就職活動に係る費用を準備しておくというアドバイスを受け、今後の就職活動のための参考になる機会になった。

交流事業の紹介

2021 年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 1/2

NO.	実施日	団体名	交流事業名	場所	対象者・参加者	活動内容
1	2021年4月7日 14:45～15:45	滋賀県立大学	2021年度前期 私費留学生オリエンテーション	学内	外国人留学生	大学生活、資格外活動（租税条約について）、在留手続き、生活情報、授業料減免制度の案内
2	2021年7月19日 16:30～17:30	滋賀県立大学	外国人留学生向け ガイダンス	学内	外国人留学生	日本での就職活動の進め方 ①日本での就職活動のスケジュール ②外国の就職活動とちがうところ ③新型コロナウィルスの影響 ④日本で働くために必要な在留資格 ⑤就職活動の注意点、インターンシップなど
3	2021年7月24日 13:00～16:00	滋賀県立大学	第3回　留学生対象 就職活動ガイダンス	ZOOMでのオンライン	外国人留学生	日本人学生と留学生の就職活動の違い、インターンシップ・就職活動体験談の公開
4	2021年12月11日 13:00～16:00	滋賀県立大学	第4回　留学生対象 就職活動ガイダンス	ZOOMでのオンライン	外国人留学生	日本での就職活動や在留資格についての情報提供、インターンシップ・就職活動体験談の公開
5	2021年7月24日	滋賀大学	第3回　留学生対象 就職活動ガイダンス	ZOOMでのオンライン	11名	今回のガイダンスは、主に学部1年生及び日本での就職を目指している外国人留学生が参加し、日本で働くための就職活動の方法や就職に係る在留手続きなどを知ってもらい、今後の就活の参考にしてもらう機会として、オンラインで開催した。 （主催：滋賀大学、びわ湖東北部地域連携協議会、共催：公立大学法人滋賀県立大学、聖泉大学） 本学就職支援室入江直樹先生の「日本で働くための就職活動について」、元本学国際交流機構寅野滋先生の「どこが違う？留学生の就活と日本人の就活～在留手続きは就活にどう影響するか～」の講演と、内定をもらって就活を終えた現・本学留学生2名から「日本企業でのインターンシップや就職活動体験談」また、本学を卒業し日本の企業に就職した先輩からの「就活アドバイス」や「就職先での業務や近況」等の情報共有を行った。 参加した留学生にとって、日本での就職をめざすための準備や就活スケジュール、どんな仕事なら在留資格が許可されるかなど、就職活動のポイントを聞くことができ、有意義な時間となった。
6	2021年12月11日	滋賀大学	第4回　留学生対象 就職活動ガイダンス	ZOOMでのオンライン	12名	第3回（7月開催）に引き続き、日本でこれから就活をする人、卒業後に就活をする人、就職先が決まった外国人留学生が参加し、日本で働くための就職活動の方法や就職に係る在留資格、手続きなどを知ってもらうため、オンラインで開催した。 （主催：滋賀大学、びわ湖東北部地域連携協議会、共催：公立大学法人滋賀県立大学、聖泉大学）
7	2021年10月11日、 11月21日、12月11日	長浜市	やさしい日本語普及活動	大学サテライトプラザ彦根、さざなみタウン	連携5大学の学生 （滋賀大学、滋賀県立大学、長浜バイオ大学、聖泉大学、滋賀文教短大 ） 日本人学生21名、留学生9名	琵琶湖東北部地域連合協議会の事業として地域におけるやさしい日本語の普及活動。
8	令和3年10月30日（土）、 31日（日）、11月6日（土） （録画実施）	JASSO　近畿支部	第16回兵庫国際交流会館 交流研究発表会	オンライン （兵庫国際交流会館3F多目的ホールにて撮影）	兵庫国際交流会館入居者及び一般	兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等が、大学や研究機関等で研究している内容を紹介することにより、入居者間の知的ネットワークの形成と研究交流を促進することを目的に実施した。 なお、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、無観客で行った研究発表を録画し、JASSOホームページ及びYouTube TIEC&HIH channelにて公開した。 JASSOホームページ：https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/hih/event/koryu/16.html テーマ：「What is MY STUDY?」令和4年1月13日（木）公開
9	令和4年3月6日（日） 14時00分～15時40分	JASSO　近畿支部	第17回兵庫国際交流会館 交流研究発表会 「国際理解ワークショップ」	オンライン	兵庫国際交流会館及び 東京国際交流館入居者並びに一般	兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等が、「国際理解ワークショップ」として共通のテーマを設け、各国・地域の文化を紹介することにより、入居者間及び日本社会との知的ネットワークの形成と異文化理解を促進することを目的に実施予定。 東京国際交流館における第71回東京国際交流館交流研究発表会と合同開催予定。 テーマ：「祭 / festival」
10	令和3年12月18日（土） 16時00分～18時00分第10回	JASSO　近畿支部	兵庫国際交流会館国際塾	オンライン （国立能楽堂よりライブ配信）	兵庫国際交流会館及び 東京国際交流館入居者	兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「能楽」をテーマに、日本への多角的な理解を促すことを目的に実施した。 なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国立能楽堂よりライブ配信にて実施した。 テーマ：「能楽」（講師：宝生流シテ方能楽師　武田孝史氏及び武田伊左氏）
11	令和4年3月12日（土） 17時00分～19時00分	JASSO　近畿支部	東京国際交流館及び 兵庫国際交流会館国際交流 オンラインフェスティバル	オンライン	兵庫国際交流会館及び 東京国際交流館入居者並びに一般	兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、世界遺産にも登録されている「富士山」をテーマに、日本への多角的な理解を促すことを目的に実施予定。 テーマ：「富士山と世界遺産」（講師：筑波大学名誉教授　稲葉信子氏）
12	令和4年2月19日（土） 11時00分～20時00分	JASSO　近畿支部	東京国際交流館及び兵庫国際交流会館国際交流オンラインフェスティバル	オンライン （東京国際交流館プラザ平成4F会議室及び兵庫国際交流会館3F多目的ホールよりライブ配信）	兵庫国際交流会館及び 東京国際交流館入居者並びに一般	東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に入居する外国人留学生等と、一般の人々の相互交流を通じた国際理解の促進を目的として実施予定。 例年、東京・兵庫それぞれの地で開催していた「国際交流フェスティバル」を、オンラインを活用し合同開催予定。 キャッチフレーズ：「つながろう！いつでも　どこでも　誰とでも」イベント特設サイト：https://www.jasso-onlinefestival.jp/
13	令和3年12月12日（日） 17時00分～19時00分	JASSO　近畿支部	令和3年度第1回 オンラインスタディツアー	オンライン	兵庫国際交流会館及び 東京国際交流館入居者	東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、重要無形民俗文化財に指定されている「ナマハゲ」に関わる見学や体験を通して、日本の歴史や文化に触れることで、日本への理解を深めることを目的として実施した。 ツアー名：「ナマハゲに会いに行こう！Discovery of "NAMAHAGE"!」
14	令和4年3月中旬	JASSO　近畿支部	令和3年度第3回 オンラインスタディツアー	オンライン	兵庫国際交流会館及び 東京国際交流館入居者	東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、「京都」を舞台に、ユネスコ世界文化遺産にも登録されている「古都京都の文化財」等の見学や体験を通して、日本の歴史や文化に触れることで、日本への理解を深めることを目的として実施する。 ツアー名：「未定」（訪問地：京都）
15	令和3年10月23日 17時00分～20時30分	JASSO　近畿支部	逆境の産物 謎解き脱出ゲーム体験会	オンライン （東京国際交流館プラザ平成4F会議室）	兵庫国際交流会館及び 東京国際交流会館入居者	東京国際交流館及び兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等を対象に、新たな価値を見出す取組を積極的に展開する企業による、講演や新しい価値の創造の結果生まれたコンテンツの体験会等を通じ、コロナ化における発想の転換について気付きを与えることを目的に実施した。 講演テーマ：コロナ禍における新しい価値の創造（講師：株式会社IKUSA執行役員　中村淳司氏）体験コンテンツ：閉ざされた電脳都市からの脱出
16	活動内容参照	JASSO　近畿支部	兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 （G-Navi）	活動内容参照	活動内容参照	一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸及び国立大学法人神戸大学への委託事業。 兵庫国際交流会館を「国際交流の拠点」として活用する各種事業を実施。なお、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、主としてオンラインにて実施。 主な事業：大学コンソーシアムひょうご神戸 ○ファシリテーション・プロジェクト演習 ○キャリアカフェ「Nada Global Village（NGV）」 ○そうだ、日本に行こう！～オンラインで知る日本の魅力と防災～ ○英語村※その他の事業は以下URLをご覧ください。http://www.consortium-hyogo.com/g-navi/ 神戸大学 ○留学生のための日本語アカデミックライティングラボ ○就職のための日本語講座 ○多文化多言語ワークショップ：カルチャーから見る社会―中国とエルサルバドルの文化 ○やさしい日本語セミナー ○ランゲージサロン※その他の事業は以下URLをご覧ください。https://g-navi.jp/
17	2021年6月11日、6月16日、 6月24日、6月28日、7月15日　他	龍谷大学	オンライン国際交流会	Zoomによる オンライン交流会	本学留学生（正規、留学生別科、交換）、協定校学生、日本人学生	2020年度から立ち上げた龍谷大学グローバル教育推進センター所管の学生団体グローバルサポーター（通称：グロサポ）の協力を得て、昨年度から引き続きZOOMを活用した「オンライン国際交流会」を開催しました。多くの留学生及び日本人学生は、長期間にわたるステイホームやオンライン授業の影響により、入学時から日本人・外国人の友人を作るのが困難な状況にあります。日々の学生生活に悩みを抱えている学生も多いですが、本イベントを通して国際交流ができたり、オフラインでも約束もできたりすることもあり、各々にとって非常にいい交流機会を提供できました。
18	2021年7月16日、7月19日	龍谷大学	留学生と楽しむ国際漫才	Zoomによる オンラインワークショップ	本学留学生（正規、留学生別科、交換）、日本人学生	吉本興業所属の国際夫婦漫才コンビ フランボネの協力を得て、ZOOMを活用した「留学生と楽しむ国際漫才ワークショップ」を開催しました。お笑い・漫才を通して在学生（日本人学生・外国人留学生）に国際交流の機会を提供できました。

2021 年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 2/2

NO.	実施日	団体名	交流事業名	場所	対象者・参加者	活動内容
19	令和4年1月26日（水）	滋賀医科大学	国費留学生と学長との懇談会	滋賀医科大学 マルチメディアセンター会議室	国費留学生、学長、 国際交流センター長、教職員	2020年度及び2021年度に採用された国費留学生と学長との懇談会を開催した。当日は、学長の他、国際交流センター長等も参加し、学生からの質問や要望に答えるかたちで懇談が行われた。
20	春ターム（4月24日～6月26日の9回開催）土曜日11:00～12:00 夏ターム（7月10日～9月18日の10回開催）同上 秋ターム（10月2日～12月18日の12回開催）同上 冬ターム（1月15日～3月12日の9回開催）同上	草津市国際交流協会	オンライン日本語ひろば「きずな」	オンライン（ZOOM）	各回平均日本人スタッフ20名＋外国人40名（内留学生25名）	立命館大学の教室を借用して開催している日本語教室であり、同大学の留学生を対象に始めた事業だが近年は日本語教育のニーズは高く、留学生以外の参加希望者が増える傾向で推移している。コロナ対策として今年度は、完全ZOOMでの開催を実施した。次年度よりは、通常の対面式での開催を検討しているが、コロナ禍の推移によってはオンライン継続も視野に入れている。
21	毎週火曜日 10:20（11:00）～12:00	草津市国際交流協会	やさしい日本語サロン	UDCBKでの対面式開催とオンライン開催を月2回ずつ	日本人7，8名＋外国人5，6名 （内留学生は1、2名）	外国人との交流の場を作るという目的で、4年前より南草津のUDCBKで開催していたやさしい日本語サロンもコロナ対策で、月2回をオンライン（ZOOM）で開催している。火曜日という時間帯なので留学生は少なく、子育てに悩む主婦等相談相手のいない外国人の相談、交流の場となっており定着してきている。
22	①2021年10月16日（土） 11:00～15:00 ②2021年10月24日（土） 11:00～15:00	草津市国際交流協会	じんけんミニフェスタ （滋賀県人権政策課主催イベント） への参加	①びわこ文化公園 ②プランチ大津京	①160名（内留学生5名））、 ②200名（内留学生6名）	
23	①2021年9月13日（月）～17日（金） ②2022年3月16日（水）	聖泉大学	令和3年度滋賀県 清華大学留学支援奨学金事業 （県内大学・清華大学グローバル人材育成事業）	ZOOM	看護学部2年生3名	①清華大学講師によるオンライン講座（中国語講座・講演） ②在中国日本関係機関および清華大学関連企業によるオンラインでの業務内容紹介および質疑応答
24	2022年2月17日（木）13:00-16:00	立命館大学	株式会社福井製作所見学企画	株式会社福井製作所（大阪府枚方市）	【留学生】滋賀医科大学1名、立命館大学2名、滋賀大学2名 ※国籍の内訳：中国3名、ベトナム2名 【教職員】立命館大学2名、滋賀大学1名	滋賀県留学生交流推進会議の交流部会の企画として実施し、（1）会社概要紹介（2）工場見学（3）社員との懇談会　を行った。当日の説明会も課長をはじめ、社員全員が英語で説明をされた。 見学では、日本の戦後の工業化の中で、どのようにして福井製作所が誕生したかを伺った。当企業がエネルギー業界内で試行錯誤を繰り返した中、安全弁製造に至ったということであったが、エネルギーを求めた工業の歴史を理解する大変いい機会であった。留学生と社員の方との質疑も活発に行われた。

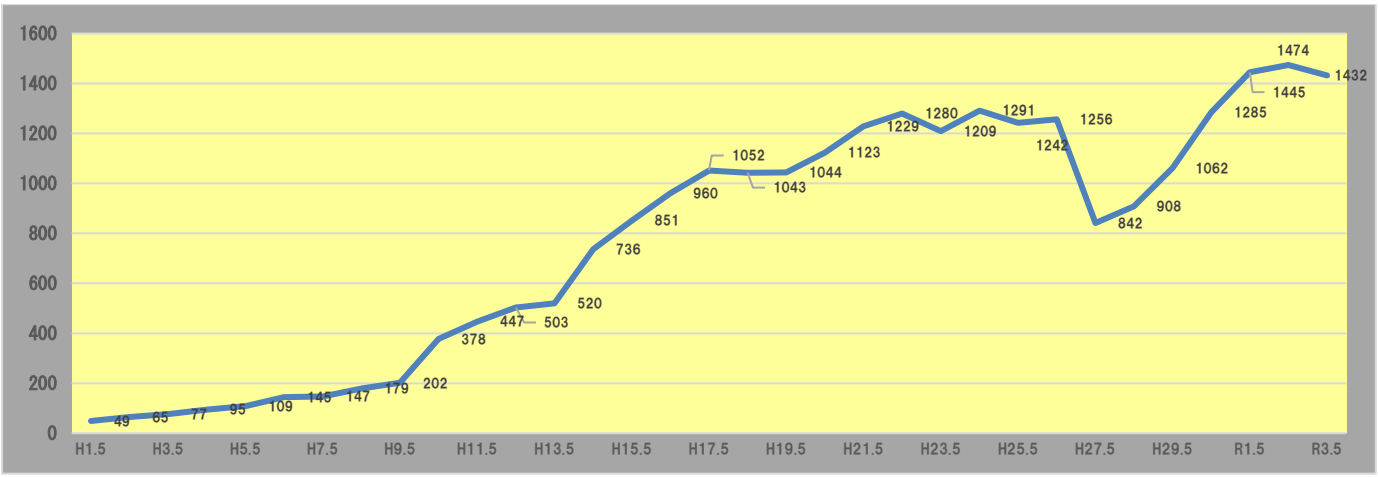
留学生データ

県内大学、短期大学の留学生受入状況（令和３年５月１日）

（１）滋賀県留学生数の推移

留学生の推移　　（単位：人）

H1.5	H2.5	H3.5	H4.5	H5.5	H6.5	H7.5	H8.5	H9.5	H10.5	H11.5	H12.5
49	65	77	95	109	145	147	179	202	378	447	503
H13.5	H14.5	H15.5	H16.5	H17.5	H18.5	H19.5	H20.5	H21.5	H22.5	H23.5	H24.5
520	736	851	960	1,052	1,043	1,044	1,123	1,229	1,280	1,209	1,291
H25.5	H26.5	H27.5	H28.5	H29.5	H30.5	R1.5	R2.5	R3.5			
1,242	1,256	842	908	1,062	1,285	1,445	1,474	1,432			



（２）滋賀県外国人留学生数【在籍身分別】　（令和３年５月１日現在）

大学	学部・短大					大学院					合計	【参考】前年度在籍者数
	正規課程		非正規課程		小計	正規課程		非正規課程		小計		
	国費	私費	国費	私費		国費	私費	国費	私費			
滋賀医科大学	0	0	0	0	0	18	18	0	0	36	36	31
滋賀県立大学	0	14	0	18	32	3	26	0	7	36	68	76
成安造形大学	2	96	0	0	98	0	0	0	0	0	98	71
聖泉大学	0	51	0	1	52	0	0	0	0	0	52	51
長浜バイオ大学	1	39	0	0	40	0	5	0	0	5	45	28
びわこ成蹊スポーツ大学	0	4	0	1	5	0	0	0	0	0	5	10
立命館大学	1	634	0	2	637	35	302	0	3	340	977	957
龍谷大学	0	52	0	1	53	1	13	0	3	17	70	61
びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
滋賀文教短期大学	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
滋賀短期大学	0	18	0	0	18	0	0	0	0	0	18	15
滋賀大学	0	49	0	13	62	2	38	1	1	42	104	141
計	4	958	0	36	998	59	402	1	14	476	1,474	1,445

※非正規課程とは、研究生・科目等履修生等を示します。

留学生データ

（３）滋賀県内大学における国別外国人留学生数【出身国（地域）別】
（令和３年５月１日現在）

国・地域	学部・短大					大学院					合計
	正規課程		非正規課程		小計	正規課程		非正規課程		小計	
	国費	私費	国費	私費		国費	私費	国費	私費		
中国	2	724	0	14	740	4	300	0	2	306	1,046
韓国	0	64	0	0	64	0	5	0	0	5	69
インド	0	5	0	0	5	0	9	0	0	9	14
インドネシア	2	48	0	0	50	0	18	0	0	18	68
シンガポール	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2
スリランカ	0	5	0	0	5	0	0	0	0	0	5
タイ	0	3	0	0	3	3	4	0	1	8	11
ネパール	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
パキスタン	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	4
バングラデシュ	0	0	0	0	0	3	13	0	0	16	16
フィリピン	0	0	0	0	0	2	3	0	0	5	5
ベトナム	0	39	0	0	39	3	22	0	0	25	64
マレーシア	0	24	0	0	24	7	1	0	0	8	32
ミャンマー	0	4	0	0	4	0	1	0	0	1	5
モンゴル	0	0	0	1	1	6	1	0	0	7	8
台湾	0	22	0	3	25	0	11	0	1	12	37
香港	0	5	0	0	5	0	0	0	0	0	5
マカオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
パラグアイ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ホンジュラス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
メキシコ	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2
アフガニスタン	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	3
アラブ首長国連邦	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
イラン	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2
サウジアラビア	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2
トルコ	0	2	0	0	2	0	1	0	0	1	3
ウガンダ	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2
エジプト	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
ケニア	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
コートジボワール	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
ジンバブエ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
セネガル	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
ナイジェリア	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	3
ナミビア	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
マラウイ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
南アフリカ	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2
アメリカ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
オーストラリア	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ウズベキスタン	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
イギリス	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1
キルギス	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2
スウェーデン	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
タジキスタン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
ベルギー	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ロシア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
計	4	963	0	19	986	31	411	0	4	446	1,432

※上記数字は、在留資格「留学」を有する留学生のみの人数です。
※非正規課程とは、研究生・科目等履修生等を示します

編集発行　滋賀県留学生交流推進会議
〒612-8577　京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学　グローバル教育推進センター
TEL.075-645-7898　FAX.075-645-2020
発行月　2022年3月
表紙絵　阿部瑞希